

第18回 海上輸出入通関・海上物流等（合同）WG 議事要旨

1. 日 時 : 平成27年8月5日（水）13:30~16:30

2. 場 所 : ソリッドスクエア 地下1階 ホール
川崎市幸区堀川町580番地

3. 議事の概要

相互に競争関係にある複数の会社において、カルテルまたはそれと疑われる行為が惹起されることがないように、独占禁止法及び関係法令並びに諸外国の競争法令の順守を原則とし議論を行った。

(1) 議題

- ① マイナンバー（法人番号）に係る対応<2>
 - 事務局（センター）から、資料1に基づき説明の後、意見交換を行った。
- ② 輸出入申告官署の自由化対応<2>
 - 事務局（センター）から、資料2に基づき説明の後、意見交換を行った。
- ③ 第5回航空・海上(合同)更改専門部会の結果報告
 - 事務局（センター）から、資料3に基づき説明の後、意見交換を行った。
- ④ 第6次NACCS詳細仕様（中間報告）説明会の開催概要及び説明会における主な意見・質問等
 - 事務局（センター）から、資料4に基づき説明の後、意見交換を行った。
- ⑤ 第17回WGの意見等報告
 - 事務局（センター）から、資料5に基づき説明の後、意見交換を行った。
- ⑥ デジタル証明書の運用の簡素化
 - 事務局（センター）から、資料6に基づき説明の後、意見交換を行った。
- ⑦ 第6次NACCS EDI仕様書<1>
 - 事務局（センター）から、資料7に基づき説明の後、意見交換を行った。
- ⑧ 第6次NACCS業務仕様書<1>
 - 事務局（センター）から、資料8に基づき説明の後、意見交換を行った。
- ⑨ サブWG検討結果：出港前報告制度に係る関係業務の見直し<2>
 - 事務局（センター）から、資料9に基づき説明の後、意見交換を行った。
- ⑩ 船腹予約業務のシステム化<2>
 - 事務局（センター）から、資料10に基づき説明の後、意見交換を行った。
- ⑪ 危険物明細書のシステム化<2>
 - 事務局（センター）から、資料11に基づき説明の後、意見交換を行った。

⑫ 海上入出港関係業務における追加検討事項

○ 事務局（センター）から、資料12に基づき説明の後、意見交換を行った。

⑬ WebNACCSについて<2>

○ 事務局（センター）から、資料13に基づき説明の後、意見交換を行った。

(2) 意見交換の概要

◆ 輸出入申告官署の自由化対応

○ 税関本関の通関部門宛に予備申告を行ったが時間外となった場合、本申告を行うためには、一度、撤回を行い、再度他の税関官署にある特別通関部門宛に申告を行うこととなる。申告官署の自由化とは少し異なる論点かも知れないが、撤回等を行うことなく、他の官署にそのまま申告可能となるような対応について併せて検討をお願いしたい。（委員）

⇒ ご要望の件については、持ち帰り検討させていただくこととしたい。（関税局）

◆ デジタル証明書の運用の簡素化

○ デジタル証明書の更新でシステム管理者が困っていることが2点ある。

① GoogleChrome 等の他ブラウザでデジタル証明書を取得してしまい、やり直しが発生するという事。

② デジタル証明書更新後、パッケージソフトのデジタル証明書参照先の設定変更をしなければならないという事。

提示されている証明書ツールにて、これらを解消することができるのか。もしできないのであれば考慮に入れてほしい。（委員）

⇒ ① 次期においては Internet Explorer の他、Google Chrome や Firefox についても対応する方向で検討している。

② パッケージソフトの機能改善にてご提案している内容となるが、次期では新たに更新されたデジタル証明書をパッケージソフトが自動で参照する機能を搭載し、手動でパッケージソフトの設定変更をすることなく、デジタル証明書更新作業が完結するよう対応予定である。（事務局）

◆ 第6次NACCS業務仕様書

○ 「貨物取扱登録（改装・仕分け）（SHS）」業務において、「内取り」というものが今回設定されているが、これまでの「仕分け」との違いはなにか。（委員）

⇒ 従来のNACCSでの「仕分け」は、親のB/L番号を無効にし、子のB/L番号に振り分ける仕組みとなっているが、親B/Lを活かした形で内取通関をしたい場合に対応できない状況にある。このため、親のB/L番号は有効のまま、その一部を子のB/L番号に分けるという仕組みを新たに提供するものである。（事務局）

◆ 危険物明細書のシステム化

○ 危険物明細書のシステム化について、船腹予約（ブッキング）業務と同様、利用促進を課題とするという位置づけなのか。（委員）

⇒ ご認識の通り、第6次NACCSで提供する新規業務については、今後、関係する業界の皆様にご業務利用のお願いをする予定である。いずれにせよ、新規業務を定着させるためには、関係業界・関係者が一丸となって取り組むことをお願いしたいと考えている。（事務局）

以上